

公開セミナー

# 国際原子カロビーとフランス原発の現在



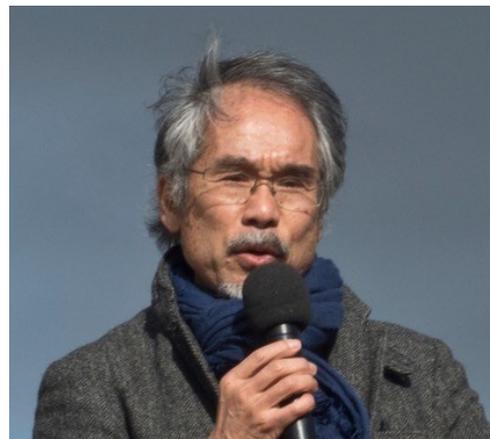
【日時】 2023年 4月 19日(水) 18:00~20:00(17:30開場)

【会場】 アオウゼ(AOZ) 大活動室3 (ダイユーエイトMAX福島店 3階)

入場無料  
申込み不要

日本では、岸田政権が原発推進へ回帰する姿勢を鮮明にしていますが、同様の動きはフランスでも見られます。

10年前からエートス・プロジェクトや国際原子カロビー批判を続けてきたコリン・コバヤシ氏に、その支配のメカニズムと人脈、戦略について解説していただくとともに、なぜ国際原子カロビーの理解が今日も重要かを語っていただきます。また、原発大回帰を告げるフランスの原発状況や、フランスで現在、普及しようとしている原発、放射線に関するガイドについても紹介していただきます。



コリン・コバヤシ(本名:小林實)氏  
プロフィール

1949年東京生まれ。1970年渡仏以来、フランスに定住。フリージャーナリスト・著述業・映像作家。生協グリーンコープ顧問。80年代から核・原発問題を追求。3・11では当日から日本の情報をフランスのメディア、市民運動く脱原発ネットワークに提供。チェルノブイリの10年後に行われたエートス計画に関心を持ち、この問題を熟知するジャーナリスト、ウラディーミル・チェルトコフや医学博士ミシェル・フェルネに出会う。チェルトコフのドキュメンタリー『真実はどこに?』日本語字幕版を共同制作。2018年菅直人前首相をフランスに招聘。また2016年東京17年パリでの反核世界社会フォーラムの企画に関与。またフランス各地で福島についての講演を行なう。主著書に『グランドの塩物語』(岩波新書 2001年)『国際原子カロビーの犯罪 -チェルノブイリから福島まで』(以文社、2013)、訳書に『68年5月』(インスクリプト社、2015)など。

## プログラム

17:30 開場

18:00 開会挨拶等

18:05~19:15 セミナー

コリン・コバヤシ 氏

(フリージャーナリスト・著述業・映像作家)

演題:「国際原子カロビーとフランス原発の現在」

19:15~19:50 質疑応答

コメント① 島 明美 氏 (伊達市議会議員)

コメント② 後藤 忍 (福島大学教授)

会場の方々との質疑応答

19:50~20:00 事務連絡等

20:00 終了

主催・お問い合わせ先

【主催】 福島大学放射線副読本研究会

【お問い合わせ】 福島大学理工学群共生システム理工学類 環境計画研究室 後藤 忍  
〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel&Fax: 024-548-5171 a067@ipc.fukushima-u.ac.jp